

## Club JePence フロントセミナー参加特典 「人間関係を円滑にするための極意」

多くの人が人間関係による悩みを抱えています。実は願望実現の観点から見ると、ここをクリアにするとかうまく扱えるようになるということがないと、なかなか現実をいい方向に変えていくことは難しいということも言えます。

何かが滞っているように感じる人や、自分なりに努力を重ねているのに特に大きな進展がないような気がする人はぜひ、ご自身の人間関係を丁寧に見直してみてください。

ここで誤解しないで欲しいのは、今キライな誰かや陰悪な関係である誰かと仲良くなれという意味ではないということです。

多くの人が「人間関係が円滑である」というのを「みんなと仲良くできる」という意味に勘違いしています。

実際に人間関係があらゆる面で上手くいっている人というのは、決して全員と仲良くできているということではなく、悩んでいないという意味であるということです。

何も最初から生理的にウマが合わない相手を好きになれとか理解しろという話ではありません。

そこをハッキリさせておいてください。

さて、人間関係を円滑にするためには、前提となっている概念を外すことがその極意となります。

多くの人が無意識に持っている概念のいくつかに以下のものがあります。

- ・ 近い関係の相手とは仲良くあるべきだ
- ・ 人間は本来わかりあえるものである
- ・ まともな人同士であれば同じ常識や近い感覚を持っている

他にもたくさんが無意識にある思い込みはありますが、とりあえず今回はこの3つだけでいきましょう。

この3つの思い込みは完全に間違いです。

逆にしてください。

これが極意です。

解説していきます。

### ・近い関係の相手とは仲良くあるべきだ

そもそも「近い関係」というのは大きく2つに分かれていることに気づいているでしょうか。

自分の意志で近い関係となったものと、意志と関係なく環境や法的な要因で近い関係であるものがあるということです。

前者はまだしも、後者は不本意や不条理であるケースも多いので、自分の意志だけではどうにもならないことが多いですね。

自分の意志で近い関係であるわけではない相手と、仲良くあるべきだと思うのはズレているということに気づきましょう。

また、自分の意思で近い関係になったとしても、状況は常に流動的なものです。

様々な要因があって、仲良くできなくなる時も当然存在します。

ここは素直に「自分が好きだと思う相手とは仲良くしていく。それ以外は仲良くできたら幸運である」くらいの姿勢にしておきましょう。

### ・人間は本来わかりあえるものである

これも非常に多い勘違いですが、原因は教育やマスコミにあります。

そう教育しておかないと秩序が保たれなくなるからという建前からそういった教育がなされがちであるとは言えます。

なので、決してコレ自体が悪いとか誤りであるという意味ではないです。

ただ、厳密に言って、人間同士がなにもかもわかりあえるということは絶対にありえません。

まず、男女というだけで身体の差があります。

女性は男性の身体感覚をリアルにはわかりませんし、その逆も同じです。

大人と子供でもそうですね。

年代が違えば違う情報や教育を受けてきているので当然感覚が違いますからそれぞれの常識も異なります。

住む地域でも常識や観念は変化しますね。

大体双子ですら違う正確に育つというのに、細部に至るまで筒抜けになるほど互いを熟知できる関係などあるわけがないです。

一般的に言われる「わかりあえる」というのは非常に浅い部分に関してだけであり、深いところまでは網羅していません。

なのに、多くの人が深い部分の意味も包括しているようななんとなく感覚を持ってしまっています。

最初から「どうせ深い部分や細かい細部まで理解しあえる誰かなど存在しないのだ」と思ってみてください。

上手くいっている人はこの辺りを徹底していますし、また、誰からこそ理解しあうためにコミュニケーションを密接にするわけです。

### ・まともな人同士であれば同じ常識や近い感覚を持っている

これも2番目とほぼ同じですが、同じ家に住む家族ですら厳密には違う常識や感覚を持っているものです。

もし全く同じなのだとしたら、恐ろしく閉鎖的で外部との関係を絶っているような家族ではないでしょうか。

隣にいる誰かとあなたの言う「赤」が同じ色を指しているということも証明できません。香水の好みが違うように、それぞれの常識も厳密には違うのです。

しかし「普通はこうだ」「常識で言えばこうはず」という前提の思い込みが非常に強いため、相手にもそれを強要してしまうケースが後をたちません。

例え家族であっても違う常識や感覚、良識を持っているものだと思います。

これら全てに共通して言えることは「相手に期待をしない」ということです。  
前提になっているものには、あなたの期待が多く含まれています。  
その期待が裏切られると、人は相手を責めたり自信をなくしたりするものですが、しかし、  
最初から期待がなければどうでしょうか。

仲良くする必要はなく、理解しあうことも不可能で、どうせ常識も違う相手なのだ、とお  
おらかな気持ちで思ってみてください。

ここで初めて、相手と本気でわかりあおう、自分を理解してもらおうというまっすぐな姿  
勢ができるものです。

相手に期待しないからこそ真摯な態度で接すると。  
これをやっていくことで、いろんな人間関係が変化していくと思います。

もちろん、これは基本中の基本ですので、本格的な対処方法などはジュパンセの講座など  
でお話しております。  
ご興味があればぜひご参加ください。

お待ちしております。